

平成 20年 3月期 第1四半期財務・業績の概況



平成 19年 7月 31日

上場会社名 株式会社 北越銀行

コード番号 8325

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 久須美 隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長(氏名) 松永 芳文

上場取引所 東証一部

URL <http://www.hokuetsubank.co.jp/>

TEL (0258) 35 - 3111

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成 20年 3月期第1四半期の連結業績(平成 19年 4月 1日 ~ 平成 19年 6月 30日)

(1)連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	14,330	△ 0.1	2,524	10.5	1,942	△ 9.8
19年3月期第1四半期	14,355	18.4	2,282	6.4	2,154	26.7
19年3月期	59,251		8,510		5,457	

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	7	61	7	19
19年3月期第1四半期	8	47	7	99
19年3月期	21	42	20	28

(2)連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率(注)		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第1四半期	2,098,981		82,011		3.8	317	21	
19年3月期第1四半期	2,046,523		76,205		3.7	299	06	
19年 3月期	2,101,779		81,167		3.8	314	07	

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 平成 20年 3月期の連結業績予想(平成 19年 4月 1日 ~ 平成 20年 3月 31日)【参考】

平成19年 5月18日に公表いたしました平成20年 3月期の連結業績予想は、中間期及び通期ともに変更ありません。

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中 間 期	27,500	△ 4.2	4,000	△ 1.0	2,400	△ 20.9	9	40
通 期	54,900	△ 7.3	7,800	△ 8.3	4,700	△ 13.8	18	41

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の連結経営成績につきましては、連結経常利益は、システム共同化への移行準備が本格化したことを主因に営業経費が前年同四半期比で増加したものの、不良債権処理額が減少したことなどから、前年同四半期比2億円増加し25億円（中間期業績予想比進捗率63.1%）となりました。

連結四半期純利益は、貸倒引当金取崩額が減少したことなどから、前年同四半期比2億円減少し19億円（中間期業績予想比進捗率80.9%）となりました。

事業別セグメントの業績につきましては、銀行業務は23億37百万円の経常利益、リース業務で1億円の経常利益、信用保証業務で80百万円の経常利益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における連結財政状態につきましては、総資産は前年同四半期末比524億円増加し2兆989億円、純資産は前年同四半期末比58億円増加し820億円となりました。

主要勘定につきましては、預金等（譲渡性預金を含む）は個人預金の増加を主因に前年同四半期末比611億円増加し1兆9,365億円となりました。また、貸出金は前年同四半期末比32億円減少し1兆1,397億円、有価証券は前年同四半期末比855億円増加し7,459億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は概ね計画どおり推移しており、平成20年3月期の連結業績予想は中間期及び通期ともに変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当ありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

当行は、中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。

[簡便な手続きの内容]

（貸倒引当金の計上基準）

当四半期末の貸倒引当金は、平成19年6月末の自己査定結果による債権残高を基準としておりますが、正常先・要注意先にかかる一般貸倒引当金引当率及び破綻懸念先にかかる個別貸倒引当金引当率については、平成19年3月期において適用した引当率に基づき計上しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

平成19年度税制改正において法人税法上の減価償却制度が改正されたことに伴い、平成19年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の定率法に基づく減価償却の方法に変更しております。また、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産のうち、償却費の累積額が従来償却可能限度額に到達している有形固定資産については、残存簿価を5年間で均等償却する方法に変更しております。これらによる損益への影響額は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期末 (A) (平成20年3月期 第1四半期末)	前年同四半期末 (B) (平成19年3月期 第1四半期末)	比 較 (A - B)	(参考) 平成19年3月期末 (C)	比 較 (A - C)
(資 産 の 部)					
現 金 預 け 金	61,825	53,216	8,609	64,376	△ 2,551
コールローン及び買入手形	68,460	10,065	58,395	149,722	△ 81,262
買 現 先 勘 定	—	84,991	△ 84,991	—	—
買 入 金 銭 債 権	0	0	0	0	0
商 品 有 価 証 券	4,532	2,504	2,028	1,023	3,509
金 銭 の 信 託	16	493	△ 477	16	0
有 価 証 券	745,983	660,478	85,505	631,279	114,704
貸 出 金	1,139,795	1,143,017	△ 3,222	1,178,721	△ 38,926
外 国 為 替	1,961	1,846	115	1,741	220
そ の 他 資 産	24,543	27,680	△ 3,137	23,081	1,462
有 形 固 定 資 産	44,007	45,027	△ 1,020	43,727	280
無 形 固 定 資 産	2,301	2,452	△ 151	2,354	△ 53
繰 延 税 金 資 産	11,261	15,257	△ 3,996	12,212	△ 951
支 払 承 諾 見 返	9,595	11,339	△ 1,744	9,710	△ 115
貸 倒 引 当 金	△ 15,302	△ 11,846	△ 3,456	△ 16,186	884
資 産 の 部 合 計	2,098,981	2,046,523	52,458	2,101,779	△ 2,798
(負 債 の 部)					
預 金	1,902,510	1,832,694	69,816	1,922,547	△ 20,037
譲 渡 性 預 金	34,010	42,630	△ 8,620	27,080	6,930
コールマネー及び売渡手形	—	3,367	△ 3,367	—	—
売 現 先 勘 定	2,994	1,499	1,495	—	2,994
債券貸借取引受入担保金	2,394	9,962	△ 7,568	10,416	△ 8,022
借 用 金	14,251	7,788	6,463	13,792	459
外 国 為 替	139	137	2	110	29
社 債	15,000	15,000	—	15,000	—
新 株 予 約 権 付 社 債	3,599	3,665	△ 66	3,631	△ 32
そ の 他 負 債	27,351	29,709	△ 2,358	12,095	15,256
賞 与 引 当 金	254	238	16	1,019	△ 765
役 員 賞 与 引 当 金	—	—	—	40	△ 40
退 職 給 付 引 当 金	16	7,576	△ 7,560	15	1
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	168	—	168	414	△ 246
利 息 返 還 損 失 引 当 金	43	—	43	32	11
再評価に係る繰延税金負債	4,639	4,710	△ 71	4,705	△ 66
支 払 承 諾	9,595	11,339	△ 1,744	9,710	△ 115
負 債 の 部 合 計	2,016,969	1,970,318	46,651	2,020,612	△ 3,643
(純 資 産 の 部)					
資 本 金	24,471	24,438	33	24,455	16
資 本 剰 余 金	16,899	16,865	34	16,883	16
利 益 剰 余 金	28,851	25,058	3,793	27,576	1,275
自 己 株 式	△ 145	△ 188	43	△ 139	△ 6
株 主 資 本 合 計	70,077	66,174	3,903	68,776	1,301
その他有価証券評価差額金	8,353	6,399	1,954	8,720	△ 367
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 1	△ 2	1	△ 3	2
土 地 再 評 価 差 額 金	2,541	2,647	△ 106	2,639	△ 98
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	10,893	9,043	1,850	11,356	△ 463
少 数 株 主 持 分	1,040	988	52	1,034	6
純 資 産 の 部 合 計	82,011	76,205	5,806	81,167	844
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	2,098,981	2,046,523	52,458	2,101,779	△ 2,798

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (A) (平成20年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (B) (平成19年3月期 第1四半期)	比 較 (A - B)	(参考) 平成19年3月期 (要約)
経 常 収 益	14,330	14,355	△ 25	59,251
資 金 運 用 収 益	8,912	8,186	726	33,467
(うち貸出金利息)	(6,367)	(5,876)	(491)	(24,376)
(うち有価証券利息配当金)	(2,273)	(2,119)	(154)	(8,202)
役 務 取 引 等 収 益	1,985	1,896	89	7,840
そ の 他 業 務 収 益	2,762	3,395	△ 633	12,603
そ の 他 経 常 収 益	670	877	△ 207	5,340
経 常 費 用	11,805	12,072	△ 267	50,741
資 金 調 達 費 用	1,469	657	812	3,932
(うち預金利息)	(1,084)	(132)	(952)	(1,721)
役 務 取 引 等 費 用	629	549	80	2,414
そ の 他 業 務 費 用	2,006	2,777	△ 771	11,914
営 業 経 費	6,896	6,499	397	23,907
そ の 他 経 常 費 用	803	1,587	△ 784	8,572
経 常 利 益	2,524	2,282	242	8,510
特 別 利 益	816	1,320	△ 504	1,134
特 別 損 失	104	20	84	632
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,236	3,583	△ 347	9,012
法人税、住民税及び事業税	123	180	△ 57	224
法人税等調整額	1,154	1,212	△ 58	3,228
少数株主利益	15	36	△ 21	101
四半期(当期)純利益	1,942	2,154	△ 212	5,457

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期（平成20年3月期 第1四半期）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	24,455	16,883	27,576	△139	68,776
当四半期の変動額					
新株の発行	15	16	—	—	32
剰余金の配当	—	—	△765	—	△765
四半期純利益	—	—	1,942	—	1,942
自己株式の取得	—	—	—	△6	△6
自己株式の処分	—	0	—	0	0
土地再評価差額金の取崩	—	—	97	—	97
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額（純額）	—	—	—	—	—
当四半期の変動額合計	15	16	1,274	△6	1,300
平成19年6月30日残高	24,471	16,899	28,851	△145	70,077

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	8,720	△3	2,639	11,356	1,034	81,167
当四半期の変動額						
新株の発行	—	—	—	—	—	32
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△765
四半期純利益	—	—	—	—	—	1,942
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△6
自己株式の処分	—	—	—	—	—	0
土地再評価差額金の取崩	—	—	—	—	—	97
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額（純額）	△366	1	△97	△462	6	△456
当四半期の変動額合計	△366	1	△97	△462	6	844
平成19年6月30日残高	8,353	△1	2,541	10,893	1,040	82,011

（注）記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

前年同四半期（平成19年3月期 第1四半期）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	23,944	16,371	23,695	△184	63,826
当四半期の変動額					
新株の発行	493	494	—	—	988
剰余金の配当（注2）	—	—	△751	—	△751
役員賞与（注2）	—	—	△40	—	△40
四半期純利益	—	—	2,154	—	2,154
自己株式の取得	—	—	—	△4	△4
自己株式の処分	—	0	—	0	0
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額（純額）	—	—	—	—	—
当四半期の変動額合計	493	494	1,363	△4	2,347
平成18年6月30日残高	24,438	16,865	25,058	△188	66,174

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	10,530	—	2,647	13,177	938	77,943
当四半期の変動額						
新株の発行	—	—	—	—	—	988
剰余金の配当（注2）	—	—	—	—	—	△751
役員賞与（注2）	—	—	—	—	—	△40
四半期純利益	—	—	—	—	—	2,154
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△4
自己株式の処分	—	—	—	—	—	0
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額（純額）	△4,131	△2	—	△4,134	49	△4,084
当四半期の変動額合計	△4,131	△2	—	△4,134	49	△1,737
平成18年6月30日残高	6,399	△2	2,647	9,043	988	76,205

（注）1 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

（参考）前連結会計年度（平成19年3月期）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	23,944	16,371	23,695	△184	63,826
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	510	511	—	—	1,022
剰余金の配当（注2）	—	—	△1,515	—	△1,515
役員賞与（注3）	—	—	△40	—	△40
当期純利益	—	—	5,457	—	5,457
自己株式の取得	—	—	—	△27	△27
自己株式の処分	—	1	—	72	74
土地再評価差額金の取崩	—	—	7	—	7
連結範囲の変動	—	—	△28	—	△28
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	—	—	—	—	—
連結会計年度中の変動額合計	510	512	3,880	45	4,949
平成19年3月31日残高	24,455	16,883	27,576	△139	68,776

	評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	10,530	—	2,647	13,177	938	77,943
連結会計年度中の変動額						
新株の発行	—	—	—	—	—	1,022
剰余金の配当（注2）	—	—	—	—	—	△1,515
役員賞与（注3）	—	—	—	—	—	△40
当期純利益	—	—	—	—	—	5,457
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△27
自己株式の処分	—	—	—	—	—	74
土地再評価差額金の取崩	—	—	—	—	—	7
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	△28
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	△1,809	△3	△7	△1,820	95	△1,725
連結会計年度中の変動額合計	△1,809	△3	△7	△1,820	95	3,223
平成19年3月31日残高	8,720	△3	2,639	11,356	1,034	81,167

（注）1 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目及び平成18年11月の取締役会決議による剰余金の配当であります。

3 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当四半期（平成20年3月期 第1四半期）

(単位：百万円)

	銀行業務	リース業務	信用保証業務	その他業務	計	消去	連結
経常収益							
(1)外部顧客に対する経常収益	12,504	1,544	85	195	14,330	—	14,330
(2)セグメント間の内部経常収益	55	250	162	99	568	(568)	—
計	12,560	1,794	248	295	14,898	(568)	14,330
経常費用	10,222	1,693	167	290	12,374	(568)	11,805
経常利益	2,337	100	80	5	2,524	(0)	2,524

前年同四半期（平成19年3月期 第1四半期）

(単位：百万円)

	銀行業務	リース業務	信用保証業務	その他業務	計	消去	連結
経常収益							
(1)外部顧客に対する経常収益	12,499	1,543	104	207	14,355	—	14,355
(2)セグメント間の内部経常収益	61	293	154	143	652	(652)	—
計	12,560	1,837	258	350	15,007	(652)	14,355
経常費用	10,522	1,707	183	310	12,723	(651)	12,072
経常利益	2,038	129	75	39	2,283	(1)	2,282

(参考) 前連結会計年度（平成19年3月期）

(単位：百万円)

	銀行業務	リース業務	信用保証業務	その他業務	計	消去	連結
経常収益							
(1)外部顧客に対する経常収益	51,563	6,364	546	776	59,251	—	59,251
(2)セグメント間の内部経常収益	225	1,154	477	405	2,262	(2,262)	—
計	51,788	7,519	1,023	1,182	61,513	(2,262)	59,251
経常費用	44,099	7,155	727	1,019	53,001	(2,260)	50,741
経常利益	7,688	363	296	163	8,512	(2)	8,510

(注) 1 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2 業務区分は連結会社の事業の内容により区分しております。なお、「その他業務」はクレジットカード業務等であります。

3 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

【所在地別セグメント情報】

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び海外支店を有していないため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

【国際業務経常収益】

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

平成20年3月期 第1四半期財務・業績 説明資料

当行の平成20年3月期第1四半期（平成19年4月1日～平成19年6月30日）における四半期情報についてお知らせいたします。

- (注) 1. 以下に記載する数値は、監査法人による監査を受けておりません。
 2. 記載金額、比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

1. 損益状況（単体）

- 業務粗利益は前年同四半期とほぼ同水準となりましたが、基幹システムの共同化スキームへの移行準備が本格化したことを主因に経費が増加したことなどから、コア業務純益は前年同四半期比4億円減少し21億円（中間期業績予想比進捗率54.6%）となりました。
- 四半期純利益は中間期業績予想比84.4%の進捗率となりましたが、第2四半期において与信関係費用等が発生する可能性なども考慮し、平成20年3月期中間期の業績予想は平成19年5月18日公表どおりといたします。

(単位：百万円)

	当四半期 (20年3月期 第1四半期)		前年同四半期 (19年3月期 第1四半期)	20年3月期 中間期予想
		前年同四半期比		
業 務 粗 利 益	9,237	46	9,191	
資 金 利 益	7,435	△ 84	7,519	
役 務 取 引 等 利 益	1,012	17	995	
そ の 他 業 務 利 益	789	114	675	
(うち国債等債券損益)	(△ 6)	(1,018)	(△ 1,024)	
(うち金融派生商品損益)	(496)	(△ 726)	(1,222)	
経 費 (△)	6,558	182	6,376	
人 件 費 (△)	3,375	△ 23	3,398	
物 件 費 (△)	2,664	160	2,504	
税 金 (△)	518	44	474	
業務純益（一般貸倒繰入前）	2,678	△ 136	2,814	
コ ア 業 務 純 益	2,187	△ 429	2,616	4,000
①一般貸倒引当金繰入額 (△)	—	—	—	
業 務 純 益	2,678	△ 136	2,814	4,200
臨 時 損 益	△ 399	364	△ 763	
②うち不良債権処理額 (△)	269	△ 1,015	1,284	
うち株式等関係損益	74	△ 626	700	
経 常 利 益	2,278	227	2,051	3,500
特 別 損 益	779	△ 526	1,305	
③うち貸倒引当金取崩額	698	△ 304	1,002	
税 引 前 四 半 期 純 利 益	3,057	△ 299	3,356	
四 半 期 (中 間) 純 利 益	1,857	△ 207	2,064	2,200
(参考) 与 信 関 係 費 用 (①+②-③)	(△ 429)	(△ 710)	(281)	

- (注) 1. 中間期予想は平成19年5月18日に公表したものです。
 2. コア業務純益＝業務純益－国債等債券損益－金融派生商品損益＋一般貸倒引当金繰入額

2. 自己資本比率（国内基準）

- 平成19年9月末の自己資本比率は、平成19年3月末と同水準の単体10.6%程度、連結10.7%程度を見込んでおります。

		平成19年9月末 (予想値)	平成19年3月末 (実績)
【単体】	自己資本比率	10.6 % 程度	10.68 %
	Tier I 比率	7.2 % 程度	7.19 %
【連結】	自己資本比率	10.7 % 程度	10.77 %
	Tier I 比率	7.3 % 程度	7.29 %

(注) 上記の予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

3. 不良債権の状況

(注) 当行は部分直接償却を実施しております。

- 金融再生法ベースの開示債権額は、平成19年3月末から単体は20億円減少し460億円、連結は20億円減少し466億円となりました。
- 不良債権比率は単体3.89%、連結3.95%となりました。

【単体】

(単位:億円)

	平成19年6月末	19年3月末比	平成19年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	73	8	65
危険債権	329	△ 14	343
要管理債権	57	△ 14	71
小計 (A)	460	△ 20	480
正常債権	11,384	△ 366	11,750
合計 (B)	11,845	△ 385	12,230
不良債権比率 (A)／(B)	3.89 %	△ 0.03 %	3.92 %

【連結】

(単位:億円)

	平成19年6月末	19年3月末比	平成19年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	78	8	70
危険債権	330	△ 14	344
要管理債権	57	△ 14	71
小計 (A)	466	△ 20	486
正常債権	11,340	△ 353	11,693
合計 (B)	11,807	△ 372	12,179
不良債権比率 (A)／(B)	3.95 %	△ 0.04 %	3.99 %

4. 時価のある有価証券の評価損益

■ 時価のあるその他有価証券の評価差額は、単体129億円、連結136億円の評価益となりました。

【単体】

	平成19年6月末				平成19年3月末			
	時価	評価差額	うち		時価	評価差額	うち	
			益	損			益	損
その他有価証券	6,752	129	272	143	5,573	135	250	114
株 式	555	236	242	6	533	214	220	6
債 券	5,234	△ 104	1	105	4,235	△ 80	2	83
そ の 他	962	△ 2	28	31	803	1	27	25

(注) 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。子会社・関連会社株式は該当がないため記載しておりません。

	平成19年6月末				平成19年3月末			
	帳簿価額	含み損益	うち		帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損			益	損
満期保有目的の債券	446	△ 14	0	14	489	△ 7	0	7

【連結】

	平成19年6月末				平成19年3月末			
	時価	評価差額	うち		時価	評価差額	うち	
			益	損			益	損
その他有価証券	6,762	136	280	143	5,583	143	258	114
株 式	564	244	250	6	543	222	228	6
債 券	5,234	△ 104	1	105	4,235	△ 80	2	83
そ の 他	962	△ 2	28	31	803	1	27	25

(注) 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

	平成19年6月末				平成19年3月末			
	帳簿価額	含み損益	うち		帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損			益	損
満期保有目的の債券	446	△ 14	0	14	489	△ 7	0	7

5. デリバティブ取引（連結）

(1) 金利関連取引
該当ありません。

(2) 通貨関連取引

(単位:億円)

区分	種類	平成19年6月末			平成19年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	為替予約	14	0	0	11	0	0
	通貨オプション	927	—	△0	846	—	0
合計			0	△0		0	0

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3) 株式関連取引

(単位:億円)

区分	種類	平成19年6月末			平成19年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	株式指数先物	17	△0	△0	—	—	—
	株式指数オプション	5	0	0	—	—	—
店頭	有価証券店頭オプション	9	△0	△0	—	—	—
合計			△0	△0		—	—

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(4) 債券関連取引

(単位:億円)

区分	種類	平成19年6月末			平成19年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	債券店頭オプション	148	△0	△0	—	—	—
合計			△0	△0		—	—

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(5) 商品関連取引
該当ありません。

(6) クレジットデリバティブ取引
該当ありません。

6. 貸出金、預金等の残高（単体）

- 貸出金の残高は、前年同四半期末比37億円減少し1兆1,487億円となりました。
- 預金等の残高は、個人預金の増加を主因に前年同四半期末比622億円増加し1兆9,394億円となりました。
- 個人預り資産の残高は、お客さまの多様化する資産運用ニーズに対応した取り組みを継続したことにより、前年同四半期末比1,063億円増加し1兆5,583億円となりました。

(1) 貸出金

（単位：億円）

	平成19年6月末	平成19年3月末	平成18年6月末
貸出金（末残）	11,487	11,885	11,524
うち個人ローン	3,637	3,640	3,547
うち新潟県内	10,202	10,601	10,285

(2) 預金等

（単位：億円）

	平成19年6月末	平成19年3月末	平成18年6月末
預金等（末残）	19,394	19,525	18,772
うち個人預金	13,482	13,171	12,920
うち新潟県内	18,756	18,892	18,154

（注）預金等＝預金＋譲渡性預金

(参考) 個人預り資産

（単位：億円）

	平成19年6月末	平成19年3月末	平成18年6月末
個人預り資産残高	15,583	15,155	14,520
預金	13,482	13,171	12,920
国債等	680	675	651
投資信託	820	757	543
保険	600	551	404

（注）保険＝年金保険＋一時払終身保険

以上

本件に関するお問い合わせ先
 総合企画部 室本・武士俣 TEL 0258-39-7350